



潮風おのみち
いしもり けいし
石森 啓司



2 中学校区統合における疑問点

議員 9月議会で設計予算案が提出され、各説明会において理解できていない地域があるのになぜ9月議会提出にこだわるのか。

教育長 子どもたちの命を守ることを最優先に考えることに加え、仮校舎で生活する児童の負担を軽減する観点から、令和7年4月の統合及び令和9年4月の新校舎使用開始を目標に取り組を進めてきた。

統合にあたっては、学校再編の基本的な考え方を明確に示すことが再編のスタートになるものと考え、条例改正案を9月議会へ提案し、これに併せ、新設統合小・中学校の基本実施設計業務等について、必要な補正予算をお願いするものである。

議員 土堂地区説明会で、「通学路にグリーンベルトを引いて安心・安全」という説明があったが、これで子どもたちの命が守れると本気で考えているのか。



潮風おのみち
むらい あつこ
村井 温子



妊婦の方に送付した資料「先輩パパからあなたへ」の炎上について

議員 問題に対しての課題設定、具体的な取り組みを伺う。「地域がつながり ともに輝く 安心して子育てができるまち 尾道」実現に向けての市長の意気込みを伺う。

市長 無意識の思い込みに対する認識、社会の価値観の変化・多様化を踏まえた発信情報の表現の決定と更新、職場内での発言や議論のしやすさの確保に課題がある。課内での協議研修、市職員全体の取組として研修を行った。引き続き担当課・全体として研修や確認作業を行う。

個々の多様性に対応した伴走型支援をより充実させ、安心して子育てしていただけるまちづくりに向け全力で取り組む。

議員 無意識の思い込みに対する認識は、行政だけではなく社会全体の課題として捉え、取り組んでいきたい。

教育長 通学路の安全を確保するため、新たな小学校区全体の合同点検を実施し、現在、長江小学校で行われている交通安全指導、保護者や地域の方々による見守り活動等も参考にしながら、交通安全指導の在り方を検討していく。

議員 8月初め頃教育委員会幹部が頻繁に議会棟へ来られていたのはなぜか。

ある議員は説明を受け「自分は反対するつもりでいたけれどこれからの議員活動が難しくなると言われ恐ろしくなった」と驚いておられた。あなた方が議員棟に入り何人かの議員と接触しているのを見た。何のために議員と接触されていたのか。答弁によっては議会・議員軽視という大きな問題になる。

教育長 教育委員会に限らず市職員は、様々な課題や施策について、議員からの質問や意見をいただいております。これに丁寧に回答し、説明することは、大切であると考えている。

久保・長江・土堂地区学校統合案を進めるプロセスについて

議員 保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得る「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが出来たか。出来たとしたら、何ををもって判断したか。保護者から一定の理解を得られたと言及があったが、一定とは何を基準にしているのか。外部委員を加えた検討委員会の設置をしてはどうか。

教育長 現在までに33回の説明会を開催し、保護者や地域の方々に理解を得よう努めてきた。保護者には質問への回答も配っている。一部の方からの反対意見はあるが、一定の理解を得られたものと捉え、子どもたちの命を守ることを最優先とし計画通り学校再編を進める必要があると考える。検討委員会の設置は考えていない。

一般質問を終えて…

「一部、一定」という明確でない判断基準によって大きな計画が強引に進められようとしている印象は否めません。市民参画出来る体制をしっかりと整えていただきたいです。

一般質問とは、議員が、定例会です。氏名横の二次元バーコード

において、行政全般にわたり、市の事務の執行ドをスマートフォンなどで読み取っていただく

状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質すことと各議員の実際の本会議での質問動向を見ることが出来ます。



潮風おのみち
まえだ たかと
前田 孝人



統合小、中学校の校舎新築に64億円も 中心市街地の町づくりに土堂小存続を

議員 国は中心市街地へ人を呼び戻すこと、コンパクトシティを掲げているが、尾道市も政策転換が求められる。いま中心市街地の一角に土堂小学校があるという事は、まさに将来の尾道のまちづくりにとって非常に重要な事である。特にまちづくりの一環としての学校の在り方は単に児童、生徒数の観点だけで適正規模、配置を行うのではなく、まちづくりの観点から学校の在り方を考えることが必要である。ところが教育委員会は「学校の統廃合ではまちづくりと教育環境は切り離し学校を配置している。このことは市長の了解を得ている。」ととんでもない説明をしてきた。平谷市長や教育長が、こんな考え方で尾道のまちづくりを行っていることに唖然としたものである。中心市街地にある土堂小学校は保護者や地域の方々が123年にわたって守ってきた。それが伝統

であり、学校そのものが土堂地区の文化であり歴史でもある。その学校を守ってきた保護者、地域住民の多くが統廃合に反対をしている。保護者、地域の人たちの合意形成がない中での見切り発車。市教委が上意下達の手法、独断で決められるものではない。また64億円の新校舎建設を統廃合の推進力にし、小中一貫校や叡知学園の教育方法（批判が広がり打ち消しに躍起）などの方策を打ち出し、統廃合に向けてリードしてきた。複数学級が必要であると適正規模を打ち出して小規模校のデメリットを強調し、小規模のまま持続可能な学校、教育を模索しようとは考えていない。DX時代の到来で従前の教育からの変革が進み、学校の適正規模もおのずと変わってくる。もういい加減に箱物建設行政から脱却し小規模校での教育にハンドルを切る時期に来ていると考える。土堂小学校を廃校にすることは20年にわたる平谷市政において、公会堂の解体と同じく尾道の歴史に大きな汚点を残すことになると思うと強く指摘し、改めて考え直すよう強く求めるものである。

教育長 子ども達の安全安心の確保、教育環境の充実、適正な学校規模の確保を基本として、一部に反対の意見もあるが計画通り進める。



潮風おのみち
にった けんじ
新田 賢慈



都市計画税

議員 都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業を行う市町村が都市計画区域内の土地や家屋に対して課す税金で、土地又は家屋の評価額の0.3%を納税するものである。都市計画税の納税額及び用途は。

市長 納税額は旧尾道市約8億4,800万円、旧向島町約8,700万円、旧因島市約1億5,500万円、旧瀬戸田町約5,000万円、旧御調町は用途地域が定められていないため課税していない。用途は、令和4年度は久保長江線道路改良事業や下水道事業のほか、し尿処理場、因瀬クリーンセンター、瀬戸田汚泥再生処理センター等に使用している。

農地バンク制度及び草刈りマッチング事業

議員 本年4月の農地法改正で農業従事者で

なくとも自由に農地の売買ができるようになり、農業委員会では本年6月から田畑の売買や賃貸を仲介する農地バンク制度と本年7月から農地の雑草等を有償で刈る事業者を紹介するマッチング事業を始めている。制度開始からの取組み状況等や今後の展望は。

市長 農業委員、農地利用最適化推進委員が制度の紹介をすることで利用の促進を図っておられる。今後も農地の再生を促すこと等で、新規就農や担い手の集積、有害鳥獣被害の軽減につなげていかれることを期待している。

因島技術センター運営

議員 因島技術センターでの研修内容、研修者の定着率、運営上の課題を伺う。

市長 センターでは、専門技能の向上を目的とした配管職装、溶接、ぎょう鉄の専門技能研修と安全体感研修を実施している。初任者研修で現場の即戦力として活躍できるように毎年40人程度が造船技術の基礎、基本を学んでいる。企業定着率は55.2%で非常に高い。課題は指導員の不足であり、会員企業に依頼し講師を派遣してもらい対応している。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質すことです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることが出来ます。



潮風おのみち
まきはた しんいち
巻幡 伸一



因島土生港周辺再開発

議員 土生港は因島の玄関として、老朽化した港湾ビルの建て替えと周辺エリアの抜本的なグランドデザイン構想が策定され、活気あふれるまちづくりが強く望まれる。市としての見解と展望は。

市長 土生港は令和3年の入港船舶数は全国一位を記録し、本州、四国、瀬戸内海の島々を結ぶ重要航路の拠点。港湾ビルは、県との共有建物で老朽化が進んでいる。土生港を中心としたまちづくりは「みなとオアシス因島・上島」の登録を受け、土生商店街の活性化を図るため3か年事業として空き店舗活用支援事業を実施している。

住みよさランキング2023の尾道市

議員 介護老人福祉・保健施設の定数は充足しているか。0~4歳児数はどうか。転

出入人口比率の数値改善が望まれるがその対策は。水道料金の他市との比較は。財政力指数の改善策は。納税義務者の所得増への環境整備施策はあるか。

市長 特別養護老人ホームは、必要度が高い方はそれほど待たなくても入所できる。介護老人保健施設は、全体の1割ほどが空床となっている。

0~4歳児数については減少しており、少子化に対して取り組みを行っている。転入出について、移住定住コンシェルジュなど取り組みを始め、事業者が進出、雇用・定住人口の増加に取り組む。

財政力指数の改善については、市税収入の増加、公債費の減少が効果的である。住環境や雇用環境の整備により市税増を図る。納税義務者の所得増への施策では、広島県の最低賃金は40円引上げられ970円になる。市として賃金改善につながる支援に努める。

水道料金の他市との比較では、尾道は多くを県用水から受水している。料金水準を抑えるため更に効率性と経営面を重視して、持続可能で強靱な事業を進める。



市民連合
だんじょう まさき
檀上 政樹



地産地消のさらなる推進を

議員 市は、近年の気候変動による異常気象やその他の影響により将来いつ訪れるかもわからない食糧難に備え市独自で食料自給率を上げ、学校給食を中心に認定こども園や病院、飲食店などで地産地消をさらに推進すべきだと考えるが、いかがお考えか。

市長 市民や事業者に対し、地域の食材を購入・使用する地産地消の意識の醸成に努めることが持続可能な農業や低炭素社会の環境づくり、食料自給率向上につながると認識しており、引き続き農地保全や環境にやさしい農業を推進するとともに学校給食等における地域産物の使用割合を増やす取り組みに努めていく。

議員 有機農業は一朝一夕にはいかないとしても、持続可能な農業生産へ向けて減農薬栽培は可能だと思うが、市は何か取り組んでいるか。

市長 本市では米・野菜・果樹等様々な品目において環境保全型農業や特別栽培農産物栽培への支援に努めている。またJA尾道市を軸に県、市等で構成する「尾道果樹産地協議会」において、イチジク栽培の化学農薬使用量低減への新たな取組を始めることとしている。

農業振興費への予算増額を

議員 市は次年度の予算編成においてソフト面の充実に向け、移住政策も兼ねて地域おこし協力隊員の農山村地域での募集増員やU・I・Jターン者、定年帰農者の就農支援など農業振興費の増額の考えはあるか。

市長 「尾道市農業振興ビジョン」に基づき担い手育成や農地利活用促進、食の安全安心等、各種農業振興施策を推進していくため、事業費を適切に計上してまいりたい。「地域おこし協力隊」については現在御調町において募集を行っている。





市民連合
おかだ ひろみ
岡田 広美



尾道で出産難民が出来る

議員 2024年4月から堀田レディースクリニックが、分娩の取り扱いを中止すると発表され、尾道で分娩しようと思ったら、よしはらクリニックか、JA尾道総合病院での分娩となる。年間600人以上生まれている尾道市で、分娩できる施設が2か所だけだと、受け入れる所が一杯になれば、大きなお腹をして車で1時間も2時間もかけて近隣の市町へ受診に行かなければいけなくなる。市民病院に産科を復活させないのか。

分娩施設が少なかったら、産前産後のケアが行き届かない。産前産後の尾道市の取り組みは。

安心して子どもを産み育てる環境づくりについての尾道での取り組みは。

市長 来年度から医師の働き方改革などでの産科医不足について、地域の医療圏域全体として取り組む課題で、本市としても産科医等確保支援事業として過酷な勤務環境にある産科医、

新生児医療担当医などへの処遇改善を図るため医療機関などに支給する手当に財政的な支援を行っている。本市の周産期医療及び小児救急医療を行っているJA尾道総合病院への運営に係る支援を行うなど分娩環境の維持確保に努めている。引き続き、市民が安心して子どもを産み育てる分娩環境の持続可能な体制整備に努める。

産前産後のケアに対する取り組みについては、相談窓口を市内7か所にワンストップサービスで対応できる子育て世代包括支援センターぽかぽか☀を設置。妊娠届時に母子手帳交付とあわせて伴走型支援をスタート。10月からは、「ぽかぽか☀おむつ定期便」を開始。きめ細やかな伴走型相談支援を進める。若年妊産婦への取り組みについても妊娠届が提出された段階でリスクアセスメントを行ったうえで状況に応じて関係機関と連携しながら、個別支援をしていく。



市民連合
まつばら せいじ
松原 正侍



マイナンバー情報の総点検

議員 尾道市において、いわゆるマイナンバー関連で誤登録により個人情報の漏洩などの事例はあるか。また、コンビニで住民票を取得しようとした場合に、他人の住民票が誤って交付された事例はあるか。

市長 本市の業務において、マイナンバーの誤登録により、個人情報が漏洩した事例は、現時点では発生していない。またコンビニで住民票の写しを取得される際に、誤った証明書が交付された事例はない。

「まちじゅう図書館」

議員 全ての公民館にWi-Fi環境が整うにあたり、全ての公民館で電子図書サービスが使える環境として、無料で使えるタブレットなど配置して、気軽に電子図書に触れる機会を作ってどうか。

教育長 読書に親しむ機会の創出や図書館の利便性向上を図っていくことは大切なことであると考えている。公民館で電子図書サービスを行うことにより電子図書のさらなる利用促進も期待できることからタブレットの配置も含めて検討する。

議員 各公民館に図書館蔵書の貸出窓口を設置し、蔵書検索機(OPAC)を配置、公民館で各図書館の蔵書の予約ができ、読みたい本の貸し出し、返却を公民館の開館時間で出来るようにしてはどうか。

教育長 公民館での貸し出し等について、利用者の利便性向上に資するだけでなく、本を気軽に読む環境づくりに繋がっていくものと考ええる。取り組みに当たっては配送及び受け取りの方法、業務の増加等課題もあることから、研究していく。

一般質問を終えて…

マイナンバー情報については、情報漏洩などの事例はないとの答弁であり、不安に思っている市民の皆さんにとっては、安心できる内容であったと思います。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質することです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることが出来ます。



市民連合
やまね もとつぐ
山根 基嗣



高齢者世帯の介護

- 議員** 高齢者世帯の介護・看護支援の考えは。
- 市長** 地域包括支援センターなどの機能強化を進め、医療と介護の切れ目のない支援体制の構築を目指す。

民生児童委員の確保及び支援体制

- 議員** 民生児童委員は地域社会の要。民生児童委員の確保と支援は。
- 市長** 関連諸機関と連携して民生児童委員の確保に努める。

久保・長江中学校校区再編

- 議員** 学校選択制度の廃止及び小中学校における環境整備への予算化は。
- 教育長** 学校選択制は見直しを検討している。教育環境整備への予算化は、少子化の進

行や施設の老朽化を考慮していく。今後は、保護者や地域の声を踏まえて、充実した教育環境を目指す。

教職員の働き方改革

- 議員** 教職員の「時間外在校時間」「持ち帰り業務時間」を把握し、削減することが不可欠。具体的な取り組みは。
- 教育長** 「持ち帰り業務時間」の実態を把握することは難しい。

人権尊重の条例制定

- 議員** 「誰もが安心して暮らせるやさしいまちづくり」には人権を尊重した条例制定が不可欠。市の考えは。
- 市長** 必要に応じて研究していく。

尾道駅前東御所緑地に電光掲示板設置を

- 議員** 異常な気温が続き、熱中症などの警戒が大切。電光掲示板を設置してはどうか。
- 市長** 電光掲示板設置の有効性については、研究に努める。



木曜会
なかにし かいと
中西 海斗



イノシシ等の有害鳥獣対策

- 議員** 本市の有害鳥獣対策について取り組みを問う。
- 市長** 本市では「尾道市鳥獣被害防止計画」を策定し、防護さく設置等の防護、捕獲班による捕獲、住居地域と里山の境界に緩衝地帯となりえるバッファゾーンの確保などの生息環境管理を組み合わせた取り組みを行っている。
- 議員** 捕獲班員の高齢化が進んでおり、今後、経験豊かなベテランハンターの大幅な減少が見込まれる。捕獲の作業をするにしても、猟具を整えたりとなにかと費用がかかる。捕獲班員になるためには、専門的な知識や技術、経験も必要であり、簡単に替えの利く役割ではない。もちろん生き物なので、危険も伴う。これらの事情を受けて、今年度広島市では捕獲報奨金が大幅に増額されている。作業内容は同じ。本市も同水準の捕獲報奨金にベースアップをする

べきだと考えるがどうか。

- 市長** 本市独自の報奨金の交付を行っており、近隣他市と比べて大きな差がないことから、現時点での増額は考えていない。
- 議員** 民間業者による有害鳥獣対策モデル事業が功をなしているとの報告を聞いた。捕獲数を補うためにも、捕獲班員の少ないエリアなどでの導入の検討をしてみたいか。
- 市長** 他市の事例などを参考にし、部分的な導入の可能性について研究していく。
- 議員** 市として、イノシシなどの有害鳥獣をジビエとして活用していく考えはあるか。
- 市長** 処理加工施設の確保、経済性、食肉検査等の安全衛生面、販路の模索など検討すべき事項が多いことから、当面は情報収集に努める。

一般質問を終えて…

市として鳥獣対策を積極的に取り組む姿勢を感じられなかった。今後、捕獲班の方々とともに現場の声を届け、所属している一次産業議連でも有効な鳥獣対策を提言していく。



木曜会
つちや さきこ
土屋 咲子



買物弱者支援の施策

議員 日常の買い物に困っている高齢者の現状を把握しているか。本市では買物弱者支援の取り組みをしているか。

市長 買物弱者の人数等は把握していない。移動販売業者の新規参入や、福祉施設等がボランティアとして外出支援をしている地域もある。これら地域の取り組みを参考に、他の地域への展開を支援していきたい。

議員 高齢者の負担を軽減し買物の楽しみを実現するだけでなく、近隣住民との繋がりや社交の場が生まれ孤立を防ぎ、高齢者の心身の健康と生活を社会全体で支えることができる。事業者と行政が協働して地域マルシェをしてはどうか。

市長 住みなれた地域で元気で安心して暮らせるまちづくりに向けて地域や事業者と連携し取り組んでまいりたい。



木曜会
おおもと かずひで
大本 和英



これまでの一般質問に対する答弁事項の進捗状況

議員 令和3年9月定例会で、市ホームページへの広告掲載について質問した。現在、4社が広告を出されているが、契約形態、掲載料、今後の見通し等は。

市長 年度当初に市と広告枠買受け業者で広告枠の売買契約をし、広告料を一括して業者から市へ納入する方法をとっている。4枠分の広告料は年額41万400円。引き続き広告掲載者を募集する。

議員 昨年の6月定例会で提案し、12月定例会で取組について答弁があった旅先納税について、現在の状況は。

市長 本市では、ふるさと納税払いチョイスPayを導入し、本年5月に運用を開始している。現時点で本サービスを利用した寄附の申し込みはなく、加盟店数は10店舗である。

通学路の安全対策

議員 長江通りのグリーンベルトは視覚的効果だけでなく安全対策として十分といえるのか。市民への周知は行なっているのか。

教育長 学校再編の説明会で周知してきたが、今後ホームページにおいて周知する。

本市における財政健全化の取り組み

議員 複数の大型建設事業等が予定されていることを懸念する市民の声も多い。無駄な歳出を減らし、歳入が増える取り組みを行う必要があるが、本市における財政健全化の取組はどのように行うのか。

市長 財政運営の公表を通じ、厳しい財政状況を全庁的に共有している。職員数の適正化による人件費の削減や公債費の抑制、遊休資産の処分等による財源の確保に取り組む。

一般質問を終えて…

地域の身近な問題から、市政全般や将来の展望まで目をやり、「木を見て森を見ず」ではなく、「木も森も見ながら」市政に取り組みたい。

議員 本会議における質問に対し、「検討・研究・調査」等と答弁された事項に対するその後の報告をいただきたいが、市の考えは。

市長 その後の経過をお知らせすることは大切なことであると認識している。どのような方法でお知らせできるか検討していく。

久保・長江中学校区の学校再編

議員 小中一貫教育校のメリットや教育内容は。

教育長 メリットは、教職員が中学校卒業時点でのゴールイメージを共有しながら、9年間を通して児童生徒を育てることが可能となる。教育内容としては、英語教育の充実やキャリア教育の充実を図っていくとともに、新たな学校文化を育む教育を創造する。

議員 保護者や地域の方へ小中一貫教育校への理解をどのように図っていくのか。

教育長 これまで以上に保護者や地域の方の理解や協力を得ることが重要。小中一貫教育校のメリットや教育内容について、開校準備委員会等のあらゆる機会を捉え理解していただくよう取り組みを進める。



平成会
にのみや ひとし
二宮 仁



道路の安全対策と維持管理は

議員 学生議会でも同じ質問があった。落石、雑草、雑木などによる危険か所を把握し、事故を防ぐことが重要だが、道路端の残土も含め、どのように把握、対応しているか。

市長 市民からの通報、パトロールにより把握しており、民地の場合は管理者に訪問や文書により適切な管理をお願いしている。道路の残土については優先順位を決めて土砂等の撤去を実施している。道路の維持管理は令和4年度に3,088件の修繕依頼を受け、うち約22%が職員の報告、約78%が市民からの通報だった。うち91.7%の2,833件を約3億2,000万円で修繕した。

環境保護・人手不足対策の再配達削減策は

議員 来春からトラックドライバーの働き方改革の法律が適用になる。国交省も配達状況を知らせるアプリの活用、確実な受取指定、

宅配ボックスや置き配袋の活用などを推奨している。置き配袋の普及支援を実施した自治体もある。本市の取り組みは。

市長 おのみちしぐさ～COOL CHOICE編～を作成、ホームページでの動画配信、パンフレットの配布などを行っている。今後、さらに置き配袋、配達事業者アプリの活用などにつながるよう努める。

水難事故防止に「サンダルバイバイ おやこ条約」等の周知は

議員 福岡県で女の子3人が溺死する悲惨な事故があった。防止策として「サンダルバイバイおやこ条約」の紹介報道があった。子どもは流れ始めたサンダル、帽子を追わないと約束し、保護者はサンダルなどを失くして帰った子どもを叱らないと約束する内容だが、本市では水難事故防止にどのように取り組んでいるか。

教育長 小学生対象の安全教室を開催し、広報で防止策を周知しており、ライフジャケット着用の重要性も伝えている。今後も尾道海上保安部などの関係機関やノウハウを持つ関連機関と連携して水難事故防止に努める。



青嵐会
みやち ひろゆき
宮地 寛行



因島瀬戸田地域対象の橋代軽減策を！

議員 因島瀬戸田地域で暮らす市民が納めている軽自動車税は年間約1.1億円あります。これを財源に「橋代応援券」として因島地域には1万円、瀬戸田地域には1万5千円分のチケットを納税者に還元してみてもいかがか？1回あたり〇〇円値引きとなると、本四公団との調整や、システム改修などの金額等時間やお金がかかってしまいますが、チケットならスピーディーに政策に結び付くのではないかと？

市長 因島瀬戸田地域だけではなく、他の地域にお住いの納税者もおられる。議員ご提案のものでは他の地域との公平性が担保できない。

高校生の通学バス定期代補助を！

議員 特に島嶼部においては高校生の通学バス定期代の負担が重くのしかかっている。

経済的に豊かなご家庭は良いが、そうばかりではない。親の経済状況にかかわらず、子ども達の選択肢が増えることはとても良い事と考えるが、通学バス定期代の助成を考えてみては？

市長 学校の存続や地域のあり方において、少なからず影響を及ぼすことも考えられるため、導入に当たっては慎重に検討を行う必要があると考える。

障がいを抱える子ども達のインフラ整備を！

議員 島嶼部から本土の施設などを利用するためには橋代が重くのしかかる。尾道市もそれを理解したうえで、障害児通所等交通費助成事業をスタートし、保護者の負担を軽減してくれている。しかしそれだけでは事業者の負担は軽減されない。持続可能な運営をしていただくためにも、この部分は公として責任を持ってサポートしていくお考えはないか？

市長 事業者には本市の早期療育に貢献していただいている。また、送迎面での負担も大きいものがあると認識している。他の事業者とのバランスも含め、多角的に研究していく。



青嵐会
むらかみ りゅういち
村上 隆一



子どもたちが室内であそべる場所を！

議員 きょうだいがいらっしゃるご家族から「上の子どもが小学生になった途端にきょうだいで今まで利用していた施設にいかれなくなった」と伺った。年齢によって室内であそべる施設が変わるようだ。就学前のお子さんは、尾道に7カ所ある子育て世代包括支援センターぽかぽかや6カ所ある子育て支援センターのいずれかを利用できるが、小学生になると2カ所しかない児童館、児童センターの利用となり気軽にあそべない。

尾道市にある 子育て施設



子育て支援センター内、もしくは近くに児童館を設置すれば、赤ちゃん→未就学児→小学生とひとつの流れができて、安心して子育てができると思うが児童館や児童センターを増やしておくつもりはあるか。

市長 児童館等を設置するにあたり、面積や児童厚生員などの確保といった課題があり、現時点では、児童館等を新設する計画はない。



子どもが室内であそべる施設

一般質問を終えて…
このままだと、尾道市の出生数は下がる一方で、人口も減る。そして、税収が落ち込み、負の連鎖に陥る。そうならないためにも、子育て環境をよくしたい。



新誠会
ふじもと ともゆき
藤本 友行



「子育て罰」から「子育てボーナス」へ 社会全体で「子ども」を育てる比較表

	尾道市	三原市	福山市	東広島市	廿日市市
一世帯当たりの町内会補助金	490円	1,155円	685円	1,900円	1,060円
公民館等運営	1人	2人	3人	3人	5人
地域担当職員	なし (一部あり)	あり	あり	あり	あり

議員 町内会補助金490円を5市平均の1,000円にできるか。

市長 歴史的経過を踏まえ検討する。

議員 公民館運営人数を1人体制から5市平均の3人体制にできるか。

教育長 業務の効率化、改善と合わせ検討する。

尾道市少子化比較表

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年 予測
出生数	728人	715人	657人	594人	508人
婚姻数	464組	425組	402組	359組	296組

議員 令和5年は、1.6倍の加速度で出生数が減少しているのはなぜか。

市長 努力している。

「子育てボーナス」について

議員 旧市内3小学校2中学校は既存中学校を改修し、「子育てボーナス」の給食無償化を最優先してはどうか。

教育長 新築する。

議員 新築すると小学校10教室、中学校9教室が、4年間で小学校4教室、8年間で中学校6教室が空き教室になるので、改修を選択してはどうか。

教育長 他の利用を考える。

一般質問を終えて…

令和17年9月7日に確認したいこと

- ① 統合小・中学校の生徒数が100人を切る
- ② 尾道市の人口が10万人を切る
- ③ 尾道市の出生数が100人を切る

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質することです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることが出来ます。



公明党
むらかみ くみ
村上 久美



骨密度検診の取り組み

議員 国の方針にもあるように、骨粗鬆症検診の受診率を上げる取り組みや市民への啓発活動をしているか。

市長 健康まつりや地区サロン、健康相談や健康教育の場で骨密度測定を無料実施し、市民への啓発を図っているが、健康増進事業としての骨粗鬆症検診は実施していない。

議員 市民病院には、7月から新しい測定器が導入されたが、性能がどのように違うのか。

市長 骨密度に加え、骨質を測定でき、精度の高い診断と、より効果的な治療につなげる事が可能となる。

議員 受診率向上のために、まずは国保検診の人間ドックの基本セットに骨密度を入れ、一部助成や無料化を推進してはどうか。

市長 現在はオプションとして選択する事

が可能。本市の行う集団健診、医療機関健診や国保人間ドック等における助成等を含め、さまざまな角度から包括的に研究してまいりたい。

医師不足に対する対策

議員 尾道市でも独自に医師確保奨学金制度を掲げておられるが、現在、在学している学生は、各学年何人ほどいらっしゃるのか。

市長 これまで貸付決定した36人の学生のうち、現在市内の公立病院に勤務4人、他の機関で研修、猶予申請中11人、貸付中8人。

議員 医師不足に対し、市長は今後どのような対策をお考えか。

市長 現在の施策を継続しながら、国・県、医師会や医療機関等との連携を図り、地域医療を守っていく。

議員 公立みつぎ総合病院併設のリハビリセンター閉鎖後も、今まで通り他院からのリハビリ患者受け入れは可能か。

病院事業管理者 今後は、公立みつぎ総合病院で受け入れる事になるが、他院からの入院に支障が生じることがないように適切な受け入れ体制を維持していく。



公明党
おかむら たかし
岡村 隆



高齢者福祉の人手不足問題

議員 介護職員の収入改善策は。

市長 事業所が国の加算を取得でき、人員確保につながるよう支援する。

応急処置に関する広報活動

議員 救命講習情報を町内の回覧等で周知してはどうか。

市長 地域のニーズに即した広報活動の実施に努めていく。



が一斉に到来することから、計画的な整備を図っていきたい。

近隣の空き地、空き家対応

議員 所有者が不明等の際の対応は。

市長 管理不全の空き地については環境政策課が、同空き家についてはまちづくり推進課が対応する。現地調査、所有者・相続人の調査を行い、適正管理のお願いの文書を送付している。引き続き改善に努める。

住民自治組織の現状と市の対応

議員 地域を支えるための市の対策は。

市長 市民活動支援事業や専門講師派遣の取り組みを行っている。



3小学校・2中学校の再編統合計画について

議員 「改修」ではなく「新校舎」を建設する必要性は。

教育長 近い将来老朽化した施設の改修時期

一般質問を終えて…

町内会の担い手不足は深刻である。「地域担当職員」を配置し、地域によりそう支援を求めていく。



公明党
ふくはら けんじ
福原 謙二



学校における空調設備・体育館への導入

議員 急激な気候変動による大規模災害や緊急時に地域の避難所としての役割を担う体育館について国から、空調設置と合わせ断熱性も確保するように要請もあった。

国の特例交付金等を活用し普通教室への冷房設備の設置はほぼ進み、トイレの洋式化も一定程度進んでいる。そうした中、避難所はもちろん、教育環境からみても体育館への空調（冷房）の導入を具体的に進める時期がきている。設置に向け具体的に計画しているのか。

教育長 屋内運動場への高温対策は重要な課題である。本年度はスポットクーラーを2台ずつ配備した。教育環境の確保に向け取り組んでまいりたい。

議員 スポットクーラーでは温度は下がらない。窓や壁、屋根などの断熱対策をして、少しでも早く空調設備（冷房）の設置を要望する。

公共工事設計労務単価について

議員 国土交通省は公共事業労務費調査に基づき、公共工事の予定価格を算出する際の基準賃金「公共工事設計労務単価」を改訂し、本年3月1日以降に契約する工事に適用することになった。改定により、全国・全職種平均で5.2%引き上げ2万2,227円となり過去最高を更新。伸び率が5%以上となるのは9年ぶりとなる。今回の引き上げは、現場で働く作業員の賃金確保と環境整備の改善が目的である。市として改訂後の建設業界の状況を把握しているのか。

市長 労働者に適切な賃金の支払いが行われる効果があると期待している。現場で働く作業員の賃金確保と環境改善には、適切な価格で請負契約を締結する必要があると認識している。適切な労働環境の整備に向け、入札契約制度の見直しを図っていく。



日本共産党
おかの なとし
岡野 長寿



しまなみ海道は生活道路に

議員 しまなみ海道平日料金が高すぎる。せめて休日料金なみに引き下げよ。市が独自に予算措置を行え。

市長 本年度末で現行料金制度が終了する。6月5日から6日にかけて国土交通大臣、地元選出国會議員等に現行料金の維持、さらに軽減を要望した。本市においては福祉施策として必要な支援を検討する。

議員 生活道路としての軽減を実施すべきだ。100円でも200円でも軽減を。

学校配置計画は市民の合意形成ができる案に

議員 土堂小学校区では78%の多数が学校存続を求めている。要望もなかった2中学校の統合（長江中・久保中）も加えた新案に合意形成ができるはずがない。文部科学省は統合の

指針に街づくりのことも考えて計画を立てるべきと提言しているが、市教委は考えないという。それは間違いだ。案を撤回せよ。

教育長 教育委員会の案で議会の議決を求めたい。

市立図書館は直営で運営すべき

議員 民間委託や正規職員の非正規職員への置き換えで、不安定な労働条件になっている。これが若者人口が減少する理由の1つにもなっている。また5つの市立図書館は民間に指定管理されているが、図書館の発注業務が公正に行われているか。地域の本屋が疲弊し、周辺部から本屋さんがなくなってしまうなど地域経済にも悪影響を及ぼしている。

教育長 市立図書館の職員は正規職員が2人、非正規職員が29人。非正規にもフルタイムで働いてもらっている。指定管理を継続する。

環境にやさしい農業

議員 住宅地付近での農薬使用で化学物質過敏症などの方が苦しまないように改善せよ。

市長 十分な配慮を行うことについて周知に努める。



参政党
尾道と島々の守り
かむり まさてる
冠 匡晃



小中学校統廃合

議員 教育委員会は小中学校統廃合を進める理由を二転三転、後付け、現校舎の耐震化の試算を不必要に大きく提示するなど誠実な態度で臨んでいない。

保護者説明会で「地域と教育は切り離して考える、これは市長も同意している」との発言をしたが、小学校がなくなることにより土堂の町から失われるもの、デメリットは何か？

教育長 回答なし。(質問通告書を提出しているにも関わらず答弁を用意せず)

市長 思い出。

新型コロナワクチンの危険性

議員 尾道市は、ワクチン接種の同意を求めるときに市民に副反応による危険性を十分に伝えていない。このワクチンは接種開始からわずか2年半の間に、副反応による健康被害件数、

及び死者数ともに、過去45年間の日本脳炎、BCGなどすべてのワクチン副反応被害の累計を上回ってしまったという、非常に危険なものである。治験でも1,200種以上もの副反応とそれによる高い致死率が確認されている。まして9月から接種されるXBBワクチンは、人間による治験も行われておらず安全性は未知である。

このワクチンの異常な危険性を市民に伝え、接種券の配布を再検討、接種者への健康調査、国の言いなりではなく市民の命と幸福を最優先する独立した行政機関への方向転換をすべきではないか？

市長 有効性、安全性は厚労省のホームページのQRコードにより各自確認を促す。安全調査は国が行うこと。本人の意思に基づいて接種を判断していただくのが重要。

一般質問を終えて…

通学路の確保もせず「生徒の安全のための統合」と言い、ワクチンの危険性も伝えず「本人の同意」だからいいと言う。議員がこの茶番を指摘したことを覚えておいてください。

特別委員会が設置されました

しまなみ海道通行料金等調査特別委員会 (5月17日設置)

しまなみ海道通行料金低減等の調査を行います。

委員長：福原 謙二

副委員長：松原 正侍

つちや さきこ
土屋 咲子
しんち たかふみ
新地 貴史

かむり まさてる
冠 匡晃
さとう しこう
佐藤 志行

むらい あつこ
村井 温子
こうもと くんじ
高本 訓司

おか の ながとし
岡野 長寿

決算特別委員会 (9月4日設置)

決算に関する事項について、審査、調査を行います。

委員長：星野 光男

副委員長：大本 和英

まつばら せいじ
松原 正侍
かむり まさてる
冠 匡晃
おかだ ひろみ
岡田 広美
むらかみ くみ美
村上 久美
しんち たかふみ
新地 貴史
こうもと くんじ
高本 訓司

だんじょう まさき
檀上 政樹
むらい あつこ
村井 温子
やまね もとつぐ
山根 基嗣
ふくはら けんじ
福原 謙二
さとう しこう
佐藤 志行
まきはた しんいち
巻幡 伸一

つちや さきこ
土屋 咲子
うおたに さとる
魚谷 悟
にのみや ひとし
二宮 仁
まえだ たかと
前田 孝人
むらかみ りゅういち
村上 隆一
にっ た けんじ
新田 賢慈

なかにし かいと
中西 海斗
おか の ながとし
岡野 長寿
おかむら たかし
岡村 隆
いしもり けいし
石森 啓司
みやち ひろゆき
宮地 寛行
ふじもと ともゆき
藤本 友行